

リッセ
l i s s e
Smiley
2連引込インセットタイプ
《枠施工用》

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

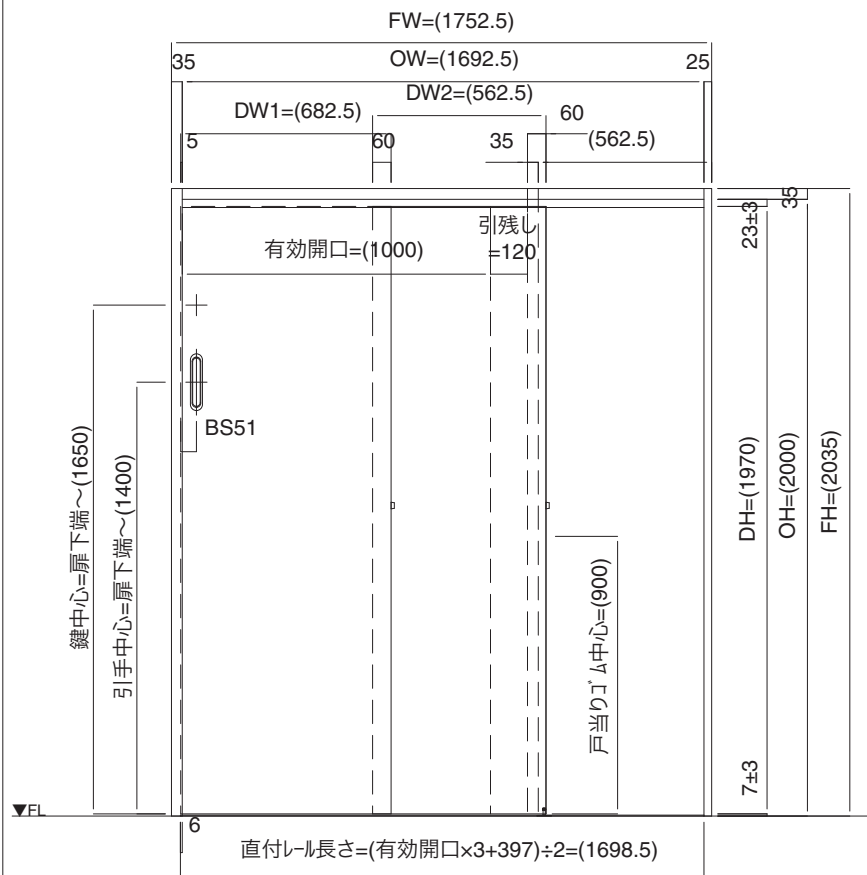
⚠ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1m以上離して作業してください。

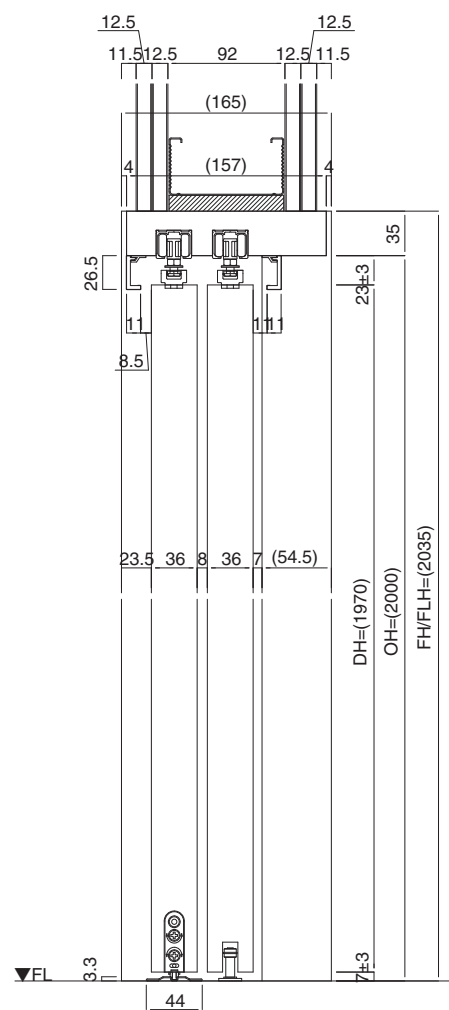
枠 梱 包					
縦枠 (カバー付)	1		戸当枠	1	
方立枠	1		上枠	1	
ハンガーカバー	2		上レール	2	
直付レール	1		吊車 戸先側 戸尻側	1 3	
ソフトクローズ用 受け金具	1	 ドリルねじ...1本 ※戸先エッジクッション の時使用	枠組立ビス 躯体取付ビス	5 17	 皿木ネジ 4.2x62
上レール取付ビス	5	 皿ドリルネジ 4x50	直付けレール 取付ビス	10	 皿タッピンネジ 15mm

納まり図

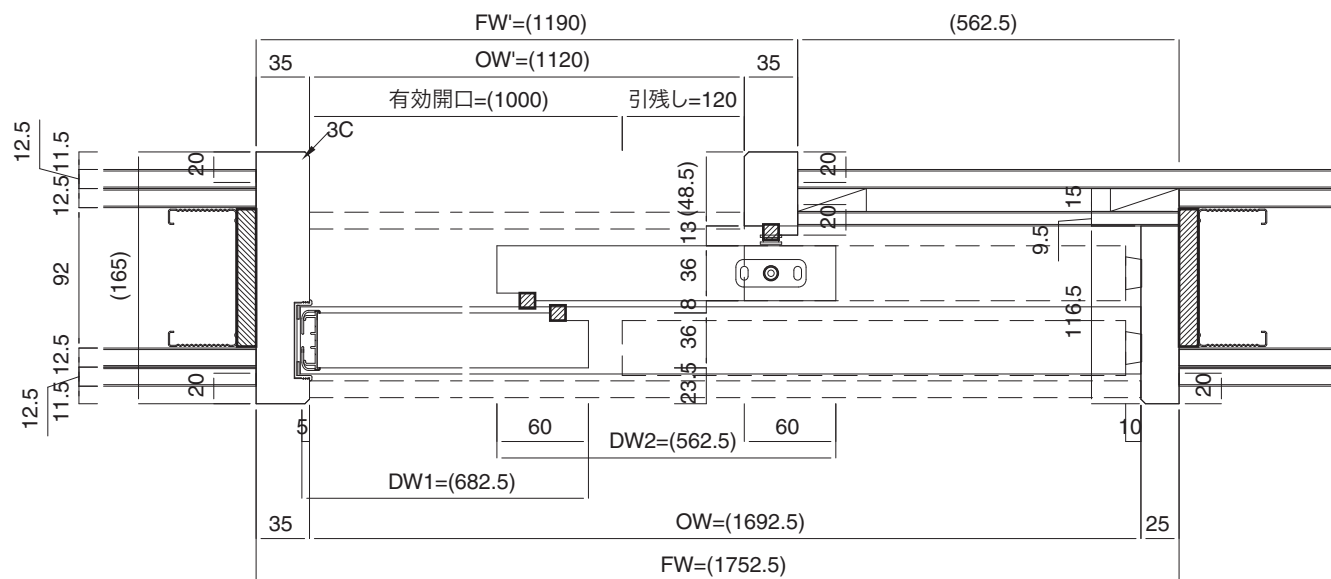
【姿図】



【縦断面図】



【横断面図】



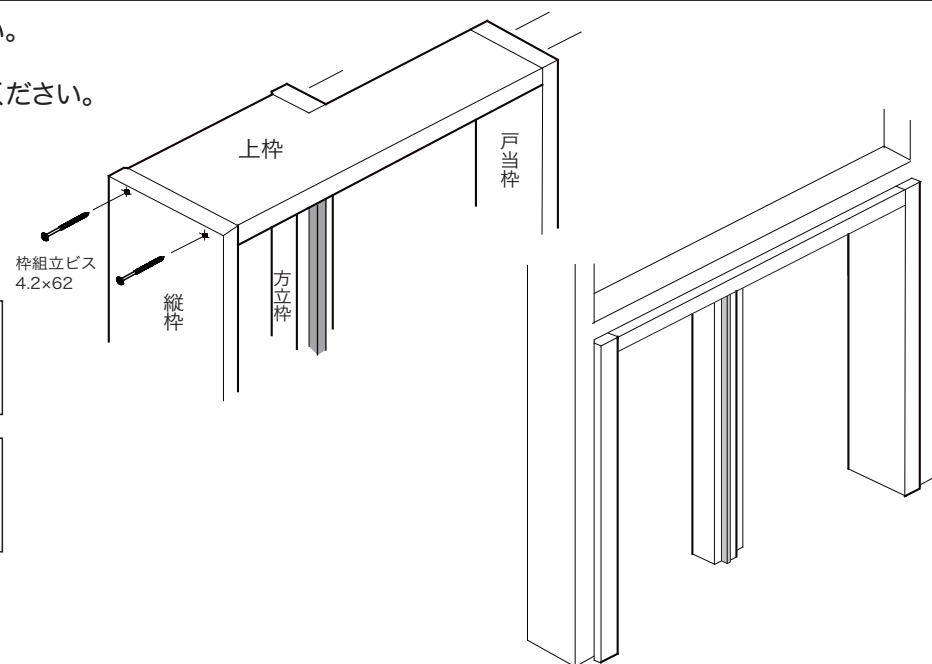
1. 枠の組立て・取付け

- ① 枠組立ビスで枠を組み立ててください。
枠にはビスのリード穴があります。
- ② 躯体取付ビスで枠を躯体に固定してください。

◆ 皿木ねじ 4.2×62

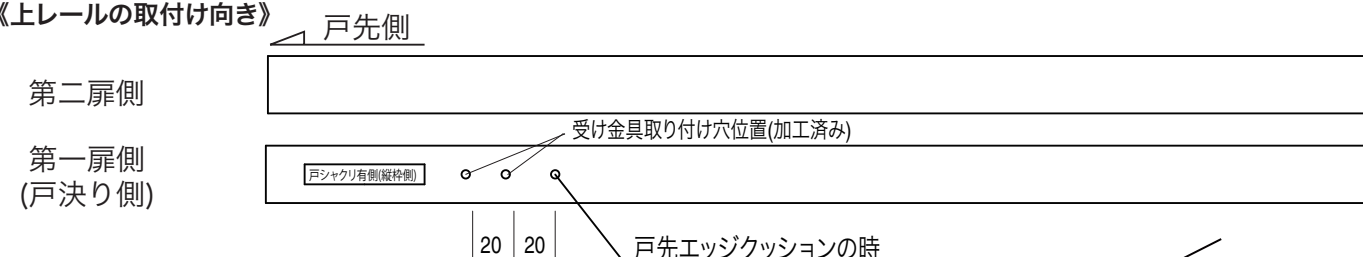
注意 垂直・水平を必ず確認し、ねじれ・傾き・変形などないよう施工してください。

注意 本品は上吊式なので、扉の荷重で上枠が垂れ下がらないよう、しっかり固定してください。



2. 上レールの取付け

《上レールの取付け向き》



- ① あらかじめ、上レールに吊車を挿入してください。
吊車の挿入する向きに注意してください。
◆ 上レール
◆ 吊車

- ② 上レールをビスで上枠に取り付けてください。
◆ レール取付ビス 皿ドリルねじ 4×50

※ レールのビスの頭が吊車と干渉しないことを確認してください。

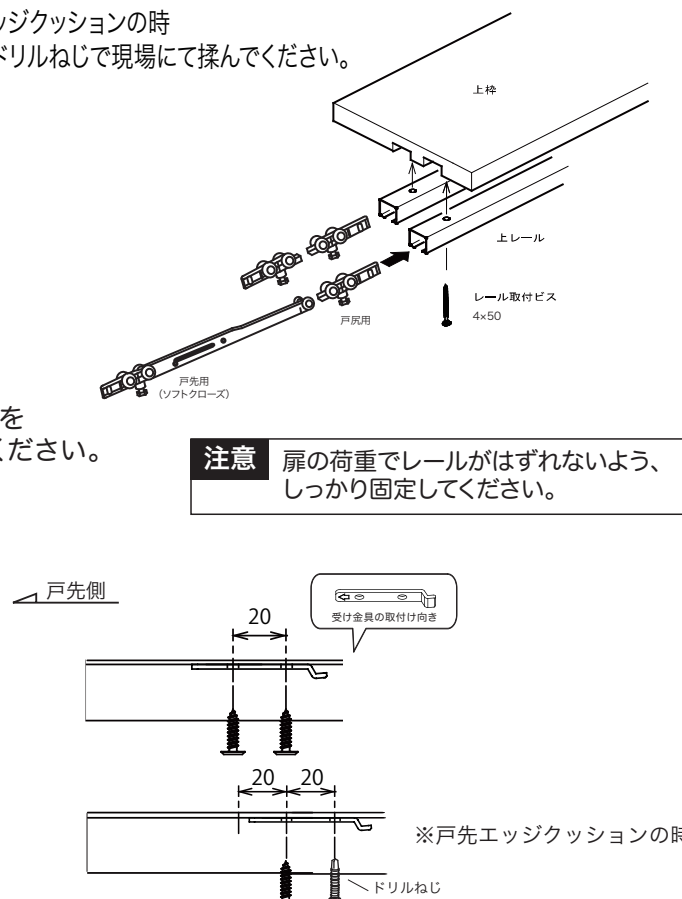
※ レール内にゴミやホコリが残っていると、ローラーの動きを妨げたり、異音を発生させる原因となりますのでご注意ください。

《受け金具の取付け》

- ③ ソフトクローズ用受け金具を
第一扉側の上レールに固定してください。
◆ ソフトクローズ用受け金具

- ④ 穴の位置に合わせて図のようにレールの下から受け金具を取り付けてください。
取付けには付属のビスを使用してください。

- ⑤ 【オプション】戸先エッジクッションの時
付属のドリルねじを使用して右図のように固定してください。



注意 扉の荷重でレールがはずれないよう、しっかり固定してください。

3. 直付けレールの取付け

- ① 直付けレールを床に取り付けてください。
付属のビスをご使用ください。
◆ 直付けレール

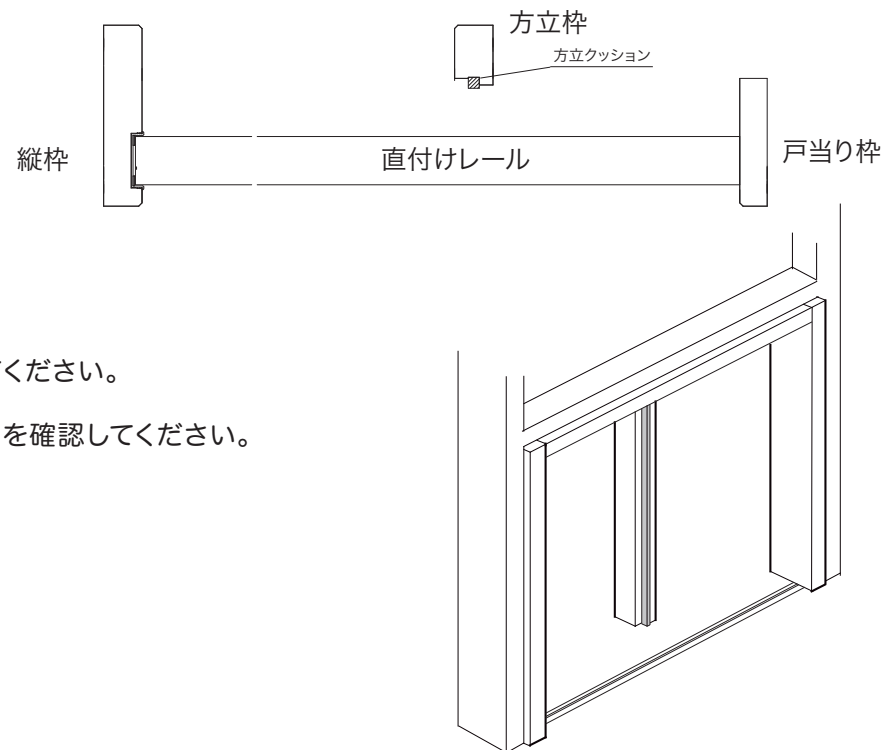
レールは第一扉側(戸決り側)の下端のみに取り付けます。

取付け位置は右図をご参照ください。

※ 必ず下穴を空けてからビス止めをしてください。

※ レールからビスの頭が飛び出ないことを確認してください。

注意 付属のビスは木用です。
コンクリートに固定する場合は、別途現場でご用意ください。



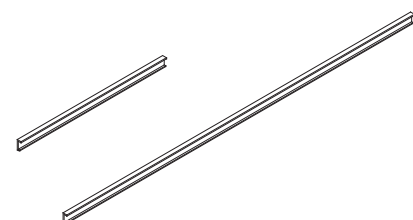
4. 扉の取付け

- ① 扉を取り付けてください。扉の取付方法につきましては、扉施工用の取扱説明書をご参照ください。

5. 部品の取付け

《ハンガーカバーの取扱い》

- ① ハンガーカバーは、扉を吊り込んだ後で取り付けてください。
- ② ハンガーカバー 及び 関係部品は、扉の吊込みまで紛失しないよう保管してください。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆ すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆ 取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
- ◆ ネジのゆるみや枠のガタツキがないか確認してください。
- ◆ ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

※ 取付けが完了しましたら、扉が他の現場工事によって破損しないように「養生マット」をご利用ください。
※ ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引き取っていただくようご協力をお願いいたします。

＜お手入れ方法＞

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れをおとし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。